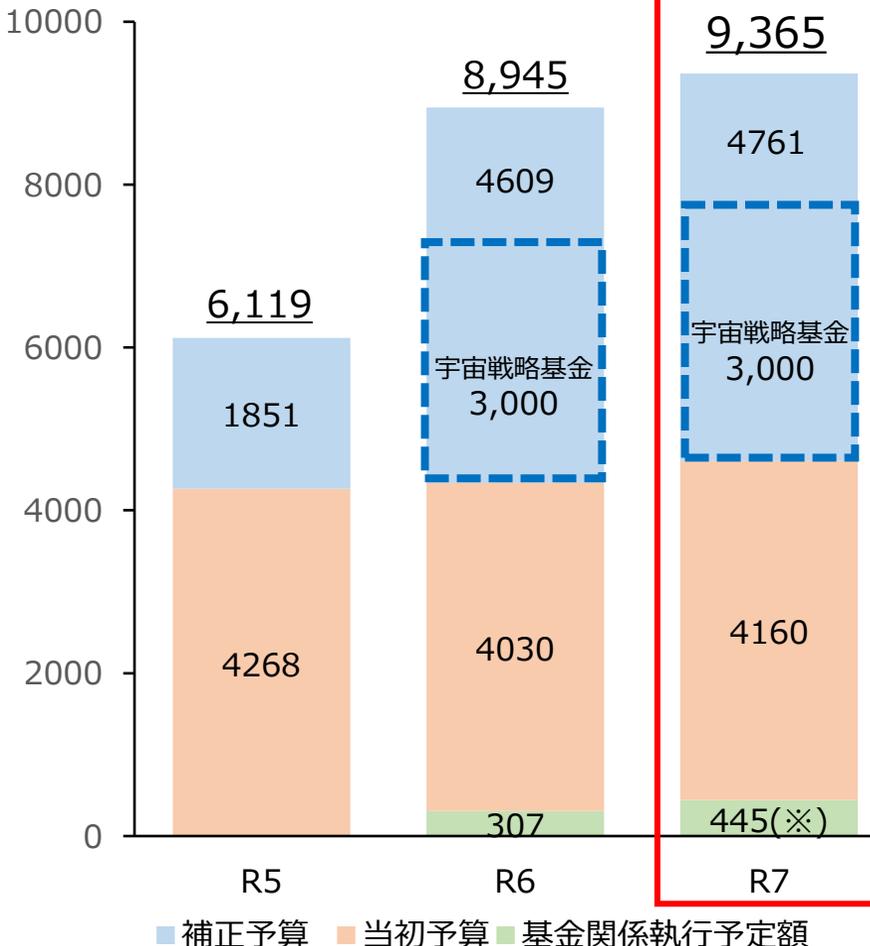


## 令和7年度当初予算案及び令和6年度補正予算における宇宙関係予算

合計 9,365 億円（対前年度比 420億円増 [+5%]）  
 令和7年度当初予算案 4,160億円 + 令和6年度補正予算 4,761億円）  
 （令和6年度当初予算等 + 令和5年度補正予算 8,945億円）

（単位：億円）



府省名	R6 補正 (億円)		R7 当初 (案) (億円)		合計 (億円)	
		対前年		対前年		対前年
1. 内閣官房	325	+50	622	▲ 0	947	+50
2. 内閣府	188	+17	206	+7	394	+24
3. 警察庁	0	+0	9	▲ 0	9	▲ 0
4. 総務省	550	+260	94	▲ 15	644	+245
5. 外務省	0	+0	3	+0	3	+0
6. 文部科学省	2,153	+49	1,516	▲ 4	3,668	+45
7. 農林水産省	29	▲ 8	45	▲ 7	74	▲ 15
8. 経済産業省	1,000	▲ 260	73	▲ 113	1,073	▲ 373
9. 国土交通省	479	+18	208	+17	688	+35
10. 環境省	0	▲ 10	54	▲ 8	54	▲ 18
11. 防衛省	37	+37	1,329	+253	1,366	+289
合計	<b>4,761</b>	+152	<b>4,160</b>	+130	<b>8,920</b>	+282

※四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

※この他、「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム（Kプロ）及びSBIRフェーズ3基金のうち宇宙関係のテーマについて、445億円（+138億円）。

（※）令和7年1月時点の見込み額。

# 主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計：9,365 億円

※ 各金額は四捨五入によって算出

<b>【内閣官房】</b>	<u>9 4 7 億円</u>	<b>【農林水産省】</b>	<u>7 4 億円</u>
● 情報収集衛星の開発・運用	9 4 7 億円	● スマート農業技術の開発・供給加速化対策等	3 6 億円
<b>【内閣府】</b>	<u>3 9 4 億円</u>	<b>【経済産業省】</b>	<u>1, 0 7 3 億円</u>
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	3 0 6 億円	● 宇宙戦略基金（経産省計上分）	1, 0 0 0 億円
● 宇宙開発利用推進費	7 3 億円	● 小型衛星等の競争力強化に向けた研究開発	5 億円
● 中央防災無線網の運用等	3 億円	● マイクロ波無線電力伝送による 宇宙太陽光発電システムの開発	3 億円
<b>【警察庁】</b>	<u>9 億円</u>	※この他、令和7年度執行予定額としてKプロ（197億円） 及びSBIRフェーズ3基金（92億円） 合計289億円	
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9 億円	<b>【国土交通省】</b>	<u>6 8 8 億円</u>
<b>【総務省】</b>	<u>6 4 4 億円</u>	● 無操縦者航空機の運用等	3 5 9 億円
● 宇宙戦略基金（総務省計上分）	4 5 0 億円	● 人工衛星の測量分野への利活用	6 3 億円
● 10Gbps級の高速光通信技術の開発	3 0 1 億円の内数	(自動運転の実現に資する地殻変動補正情報の高度化など)	
● 次期静止気象衛星に搭載する宇宙環境計測装置の開発	4 億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用等	2 5 億円
<b>【外務省】</b>	<u>3 億円</u>	● 次期静止気象衛星の整備	2 1 0 億円
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3 億円	<b>【環境省】</b>	<u>5 4 億円</u>
<b>【文部科学省】</b>	<u>3, 6 6 8 億円</u>	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	3 9 億円
● 宇宙戦略基金（文科省計上分）	1, 5 5 0 億円	<b>【防衛省】</b> ※令和7年度歳出予定額を記載	<u>1, 3 6 6 億円</u>
● 基幹ロケットの開発・高度化	1 4 5 億円	● 衛星コンステレーションの構築	-
● 基幹ロケットの打上げ高頻度化	1 9 億円	● 次期防衛通信衛星の整備	-
● 将来宇宙輸送システムに向けた研究開発	2 9 億円	● 次世代防衛技術実証衛星の開発	-
● 官民連携光学ミッションの開発	1 3 億円	● 画像解析用データの取得	2 4 7 億円
● 温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）	1 1 億円		
● アルテミス計画に向けた研究開発等	5 1 5 億円		
うち有人と圧ローバ開発	2 0 9 億円		
うち新型国際宇宙ステーション補給機（HTV-X）	2 0 1 億円		
● 高感度太陽紫外線分光観測衛星（SOLAR-C）	3 6 億円		
※この他、令和7年度執行予定額としてKプロ（49億円） 及びSBIRフェーズ3基金（107億円） 合計156億円			

# 宇宙開発戦略推進事務局の令和7年度予算案

## 1. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用

**R7当初169.1億円+R6補正136.9億円 計 306.0億円**

(※R6当初167.1億円+R5補正予算73.1億円 計240.1億円)

- 持続測位が可能となる7機体制の確立に向けた開発・整備
- 11機体制に向けて3号機の後継機及び8号機の本格的な開発を開始



準天頂衛星「みちびき」

## 2. 宇宙開発利用推進費

**R7当初23.0億円+R6補正50.0億円 計 73.0億円**

(※R6当初23.0億円+R5補正96.9億円 計119.9億円)

- 衛星・月面関連技術など、各省が連携して戦略的に取り組むべき技術開発を着実に推進



SAR衛星コンステレーション  
利用実証

## 3. その他（調査、事務費等）

**10.6億円** (※R5当初9.2億円)

**R7当初202.6億円 + R6補正 186.9億円 合計 389.5億円**

(※R6当初199.3億円+R5補正予算170.0億円 計 369.2億円)

## (参考) 宇宙戦略基金

**3,000.0 億円**【文科省：1,550億円、経産省1,000億円、総務省450億円】

(※R5補正予算3000.0億円)

- 速やかに総額1兆円規模の支援を行うことを目指すとともに、非宇宙のプレーヤの参入促進や、新たな産業・ビジネスの創出、事業化へのコミットの拡大等の観点からスタートアップを含む民間企業や大学等の技術開発への支援を強化・加速